

令和5年度第1回豊臣石垣保存公開検討会議 議事要旨

1. 開催日時：令和6年2月2日（金）14:00～16:00

2. 開催場所：大阪城パークセンター2階会議室

3. 出席者

メンバー：中村座長、伊藤委員、岸本委員、西形委員

大阪府教育庁文化財保護課：木村主査、北川技師

一般財団法人大阪市文化財協会保存科学室：藤田室長

教育委員会事務局文化財保護課：佐藤主任

経済戦略局大阪城天守閣：跡部主幹

経済戦略局観光課：末本課長、谷岡課長代理、日高係長、森学芸員

4. 議事

1. 事業の進捗状況
2. 石垣公開施設の外壁仕上げの変更について
3. 石垣モニタリングについて
4. 徳川期遺構の復元・修復について
5. 石垣公開施設の展示について
6. その他

【1. 事業の進捗状況】

事業の進捗状況、スケジュールを説明し、写真を用いて現場状況について報告した。

・意見なし

【2. 石垣公開施設の外壁仕上げの変更について】

公開施設の外壁仕上げについて、杉板型枠を使用したコンクリート打放しなどに変更することを報告した。

・意見なし

【3. 石垣モニタリングについて】

石垣にかかるモニタリング（変位・環境計測、白化の目視確認）の実施状況、令和4年4月～令和5年12月の測定データの状況について報告し、施設完成後の石垣モニタリング対応予定について説明した。

（伊藤委員）

・測定データのグラフは事前に提供いただきたい。

- ・センサー類は壊れてからの対応でなく、定期的に交換できるようにしておくといよい。特に湿度計のセンサーは非常に弱いものである。センサーとロガーが分かればセンサーだけ交換することが可能。
- ・データの評価に関わるので、データの意味や価値をよく考えてグラフを作成してほしい。機器の不具合が疑われたり、機器を交換したり、データが取れなかった期間があったりする場合は、そのことが一目で分かるようグラフに明記すべき。
- ・石垣天端の湿度がほぼ 100%になっている。今後同様のデータが出てきたときの対処法を早急に考える必要がある。
- ・石材表面の物質をカビかどうか簡単に判別する機械がある。
- ・データを記録するだけでなく、石垣変位についてはある程度の値を設定しておき、機械的に予測して警告が出るようにするとよい。

(岸本委員)

- ・市はきちんとしたデータを採って、専門の委員にきちんと評価してもらうべき。安心して公開できるよう、文化庁の基準にも照らして評価してもらおうといよい。

(西形委員)

- ・データを見る限り、変位については非常に安定していると言ってよい。地下工事の時に一番影響が大きくなると思っていたが、この変位状況であるということは、非常に安全な施工がされたのだろう。今のところミリ単位の変位のため大きな問題はないが、変位がセンチ単位になり、かつ、変位速度が上がると黄信号・赤信号となる。
- ・地震や大雨などがあった時、すぐにチェックできる体制が必要。自動的に記録されるデータについても、限界値を超えたら即座に把握でき、見学者にも通報するようなシステムが必要。
- ・文化庁が現在検討中の石垣耐震マニュアルによると、公開する豊臣石垣は、安定性に問題がある部類に入る。見学者の安全性を担保するため、完成後もモニタリングをし、万が一変状が進んだ場合に見学者をどう誘導するかなどを決めておくことで、モニタリングによって安全管理を確実なものにする必要がある。

(中村座長)

- ・各委員の意見を参考に、石垣モニタリングについて検討してほしい。

【4. 徳川期遺構の復元・修復について】

徳川期遺構である石列・石組溝の復元、雁木石垣の修復工事の内容について説明した。

- ・意見なし

【5. 石垣公開施設の展示について】

公開施設の展示内容について説明した。

(伊藤委員)

- ・石垣の展示ホールの滞留人数の制限やコントロールの仕方を考えておくべき。

(岸本委員)

- ・シアタールームはよい場所なので、映像を1回作って終わりではなく、番組を新しくするというものも考えるべき。

(西形委員)

- ・石垣前にできるだけ人を滞留させず、スムーズに見学者を通していく必要がある。

【6. その他】

① 特別史跡大坂城跡整備計画検討会議について

整備基本計画策定と、計画策定後の推進会議設置予定などについて説明した。

- ・意見なし

② 今後の予定(案)について

(伊藤委員)

- ・開館後に本検討会議は解散するのか、あるいは管理について検討するようなものに置き換えるのか、また、退任した委員の後任についても検討が必要ではないか。

(中村座長)

- ・退任した委員の補充については、事務局で検討してほしい。

以上